

第四拾七号

第5期陶芸教室 開講します

第5期陶芸教室が間もなく開講します。

毎週土曜日の朝・昼・夜それぞれ10名計30名の定員でしたし、果たして教室を楽しんで下さるだろうかと不安のスタートでした。あれから早5回目。今期は早々と定員オーバーになって、校長兼生徒としましては嬉しい限りです。生徒の皆さんに心から感謝を申し上げます。また半数以上の方が再挑戦組ですので、教室の家族的な雰囲気や作る楽しみが徐々に増してこられたのだなぁと嬉しく思います。無心に作る時間を大切にしたいと思っています。新規の方もご心配なく。



窯大生 一週間の実習を終えて

今年の冷夏は深刻です。恒例の窯大生現場研修が今月4日(月)から8日(金)までありましたが、前半は連日35 という猛暑でぐったりされていましたが、後半は台風もそれと涼風が工房内に入り、動き易い環境でした。農作物に悪影響がなければといささか半農半窯の町ならではの心配の種はつきません。それよりも有田の技は心はどこへ行ってしまったのだろうと年々前年割れするやきもの需要の低滞がより深刻です。有田の歴史と伝統は、やはり本物志向、高級志向にあります。職人さんを大切にして陶工魂を次代へつなげなければいけません。

今年も開催 バレーボールフェスタ

今月のお客様のコーナーがありますが、三度中垣内バレーボール選手と会うことができました。今回はプラス大林素子元全日本選手との初対面もありますし、今から興奮気味です。

生涯を貫く職業を選択する事は難しい事です。しかも競争の激しいポジションですからなおさらです。現役を離れても、小中学生を集めてバレーボール教室を全国各地で開いておられます。

有田地区で毎年お世話をして下さる保育士の藤崎先生の献身的な受け皿づくりに、心からお礼を申し上げたいと思います。教室の合間をぬって焼きものづくりに興じられる姿を見てると何故かホッとします。そしてバレーボール選手はロクロが上手なのです。

『AZ-CLUB MAGAZINE』にしん窯掲載



福岡岩田屋百貨店の会員誌『AZ-CLUB MAGAZINE』9月号に、“有田焼窯元を訪ねて”としてしん窯青花を採り上げて下さいました。「青花」ブランドと「青花匠」ブランドを丁寧にかつ分かり易く紹介していただいています。岩田屋催事として、9月2日(火)より16日(火)まで本館7階陶器売場で限定販売していますので、どうぞご高覧下さい。

青花誕生30周年に向けて

青花誕生30周年を2006年(平成18年)の3年後に控え、しん窯では、今年全てのイベントに“30周年3年前”と冠を付けてアピールしています。間もなく秋の陶器市(11月1日~3日)や、青花ブランドの生みの親のひとりであり紅毛手デザイナーの藤井陽滋展が『有田皿山外山からの挑戦』と題して佐世保玉屋6階美術サロンで開かれます。紅毛手ばかりでなく、様々な文様の筆勢を見ていただければと思います。有田焼染付職人の野趣に富んだ匠の技に魅せられると信じています。



作陶中の藤井